

避難方法とタイミング

避難方法について知ろう!

立退き避難の場合

避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は避難所に行く必要はありません。避難先は市が開設する避難所だけではありません。安全な親戚・知人宅等に避難することも考えてみましょう。

- ・できる限り2人以上で避難
- ・子どもから目を離さない
- ・子ども、高齢者、病気の方などは避難に時間がかかるので早めに避難する
- ・マンホールや側溝に注意
- ・紐で結べる運動靴で避難



- ・避難する際はそのまま食べられる食料・飲料水・スリッパ等必要なものを持参
- ・感染症が心配なときは、マスク・アルコール消毒液等を持参
- ・常備薬、オムツ、ミルクなど自身や家族の状況に応じて持参



- ・ペットと一緒に避難できる避難所へ避難できます
ただし、ペットと一緒に過ごすことはできません
- ・ペットと避難する際は、食べ物やトイレ、ケージを持参

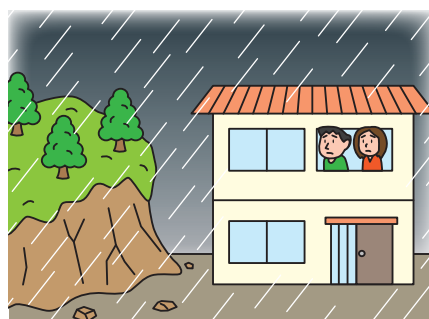
- ・発熱・せき等の症状がある場合など、体調がすぐれない方は避難先で申し出ましょう



屋内安全確保

屋内に留まる方が安全な場合は、以下の点に注意して、屋内での避難(屋内安全確保)を行いましょう。

- ・屋内の中心部に近く、2階以上の窓のない部屋や、崖などの危険な場所から最も離れた部屋へ移動
- ・雨戸、窓、網戸、カーテンを閉める



防災気象情報と警戒レベルとの対応

災害発生時には、情報収集と迅速な行動が必要になります。

市では、災害の種類や発生場所により異なる基準で警戒レベル(避難指示等の避難情報)を発令しますので、市民の皆さんは自身の状況を正しく把握し、迅速な行動を心掛けてください。

災害発生まで	気象情報又は避難情報	どうする
<p>災害発生</p> <p>警戒レベル 5</p> <p>この時点までに避難していないと命が危険です!</p>	<p>災害発生または切迫</p> <p>緊急安全確保</p>	<p>ただちに命を守る行動をとってください!</p>
<p>災害のおそれ 高い</p> <p>警戒レベル 4</p>	<p>避難指示</p>	<p>全員ただちに危険な場所から避難</p>
<p>災害のおそれ あり</p> <p>警戒レベル 3</p>	<p>高齢者等避難</p>	<p>高齢者等ただちに危険な場所から避難</p>
<p>気象状況 悪化</p> <p>警戒レベル 2</p>	<p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>	<p>避難先、避難経路の確認、非常持ち出し品の確認</p>
<p>今後気象状況悪化のおそれ</p> <p>警戒レベル 1</p>	<p>早期注意情報 (気象庁)</p>	<p>テレビやラジオ等で最新の気象情報を確認</p>